

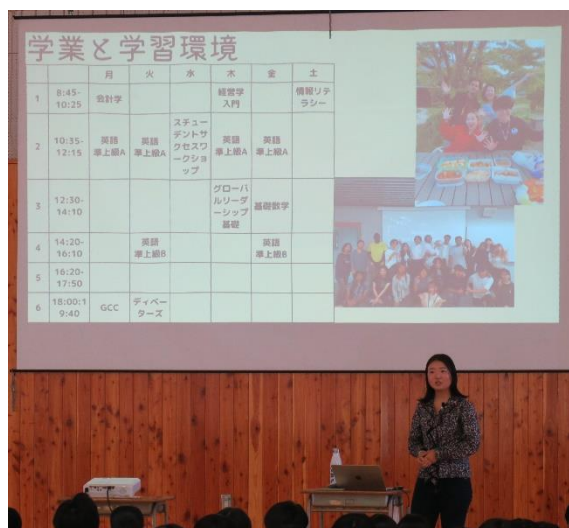
令和6年9月 4日(水) 2学年卒業生による進路講演会

10日(火) 防災訓練

13日(金) 岳陽アカデミー講演会

【2学年進路講演会】

9月4日(水)に2学年を対象に卒業生による進路講演会が行われました。講師は立命館アジア太平洋大学 APU 国際経営学部在籍中の小林はる香さんです。小林さんは岳陽高校に在籍中、2年次に休学し、交換留学生として1年間フランスに留学し令和6年3月に本校を卒業しています。APU (Asia Pacific University) という国際色豊かな大学に進学した理由、そこで得た考え方などを話していただきました。他国の学生との関わりの中で、自分の世界が広がったこと、自分を見つめ直す機会を得たことなどを通して、進路を選択するにあたって大事にすべきことを卒業生の観点からわかりやすくお話していただきました。



大学の授業内容を説明する小林さん



消火訓練の様子

【防災訓練】

同月10日(火)、防災訓練を行いました。東海沖でマグニチュード7.0の強い地震が発生し、大町市で震度5強の揺れが到達、またその地震で化学室から火災が発生した、という想定です。訓練では、通報の確認、避難訓練、消火訓練を行い、実際の災害を想定して緊張感を持ちながら臨むことができました。

【岳陽アカデミー講演会】

さらに同月13日(金)、東京大学大学院農学生命科学研究科准教授の神谷岳洋先生をお迎えして岳陽アカデミー講演会を行いました。神谷先生は平成9年大町高校普通科を卒業された本校OBです。神谷先生は、農学・植物栄養学を通して、食料生産や環境負荷の低減に貢献することで、世界の食糧問題を解決する事を目指しているそうです。お話の中では、米の消費が多い国の説明もありましたが、1位ミャンマー、2位バングラデシュ(1日の摂取カロリーに占める米の量は世界1位)、3位ベトナムで、日本の米の消費量は意外と少ないことが挙げられ、生徒たちも驚いていました。卒業生の活躍を知り、自分の進路を考える機会になりました。



講演の様子